

- I 第65回総会及び第72回お茶の水女子大大会報告
- II 新役員組織(2013-2014)
- III 来年度(北海道大学)大会及び総会
- IV 会費減額制度について
- V 公募論文
- VI 委員会報告
- VII ワーキンググループ報告
- VIII その他

I 日本哲学会第65回総会及び第72回お茶の水女子大大会

2013年5月11日(土)、12日(日)の両日、本学会第65回総会及び第72回大会がお茶の水女子大学において開催され、参加者は延べ約1500名で大盛況でした。また、10日(金)夕刻に開かれた哲学教育ワークショップには80余名が集まりました。

従来の「共同討議」に替えて、「学協会シンポジウム」「インターナショナル・セッション」を新設しました。また男女共同参画・若手研究者支援ワーキンググループ主催のワークショップ「哲学とミソジニー」が開かれました。

さらに学会主催のワークショップとは別に、一般会員企画によるワークショップを公募した結果、三つの会員企画公募ワークショップが開かれました。

総会報告 及び 議決事項

①一般報告

2012年度日本哲学会事業報告は、既に配布した報告の記載通りに承認されました。

②会計報告

2012年度日本哲学会会計報告は、既に配布した報告の記載通りに承認されました。

2013年度日本哲学会予算は、既に配布した報告の記載通りに承認されました。

③会費減額制度導入について

日本哲学会規則の第十四条を改定することが提案され承認されました。

④国際交流活動報告においては国際交流基金設立の報告がなされました。

⑤林基金運営委員会報告

1) 2012年10月より林基金出版助成の募集を開始しました。(2012年は応募1件)

2) 『哲学64号』に採用された応募論文の中で、条件(※)に該当する以下の2名に、第2回林基金若手研究者研究助成を行いました。

根無一信氏 介入せずに介入する神

—ライブニッツにおける連続的創造と神の協働

増山浩人氏 デザイン論証とAls-Obの方法

—ヒュームの「自然宗教に関する対話」に対するカントの応答

※条件：新規投稿時に35歳以下で、当該年度4月1日時点で常勤職及び学術振興会特別研究員についていない方

⑥2012年度若手奨励賞表彰式

受賞者 根無一信氏

II 新役員組織(2013-2014) (以下敬称略、氏名順)

① 評議員48名

郵送による全会員投票により選挙を行いました。その結果に基づき、下記の48名に評議員を依頼し承諾を得ました。投票者総数は186名でした。(開票立会人は、大橋容一郎、鈴木伸国、寺田俊郎、長町祐司)

② 理事16名

選ばれた評議員の中で理事の選出を行いました。その結果に基づき、下記の16名に理事を依頼し承諾を得ました。投票者総数は43名でした。

※6月1日に開催された第一回理事会において、会長は飯田隆理事に決定しました。

③ 会計監査2名

郵送による投票により、選挙を行いました。その結果に基づき、下記の2名に会計監査を依頼し承諾を得ました。投票者総数は43名でした。

④ 推薦理事4名

第一回理事会において、推薦理事の推薦が行われ、下記の4名に推薦理事を依頼し、承諾を得ました。

⑤ 推薦評議員4名

第二回理事会において、推薦評議員の推薦が行われ、下記の4名に推薦評議員を依頼し、承諾を得ました。

⑥ 編集委員36名

第一回理事会において下記の会員に編集委員を委嘱しました。

※6月1日に開催された第一回理事会において、神崎繁理事が編集委員長に就任することが決定し、7月13日に開催された第一回編集委員会において、その旨が了承されました。

⑦ 事務局長および事務局幹事

事務局校の大橋容一郎が事務局長に、また鈴木伸国、寺田俊郎、長町祐司が事務局幹事に就任することが決定しました。理事会は大橋理事と事務局長兼任を承認し、理事の補充を行わないことを決定しました。

理事 20名

飯田隆	和泉ちえ	伊勢俊彦	伊勢田哲治	一ノ瀬正樹	伊藤邦武
大橋容一郎	金井淑子	金山弥平	神崎繁	河野哲也	清水哲郎
高田純	直江清隆	野家啓一	山内志朗		
(推薦理事)	上野修	木村博	鈴木泉	田坂さつき	

会計監査 2名

加藤泰史 榊原哲也

評議員 52名

飯田隆	石井潔	和泉ちえ	伊勢俊彦	伊勢田哲治	一ノ瀬正樹
伊藤邦武	入江幸男	上野修	大橋容一郎	尾関周二	加藤泰史
金井淑子	金山弥平	川本隆史	神崎繁	木村博	工藤和男
小池直人	河野哲也	小林道夫	酒井潔	榊原哲也	座小田豊
清水哲郎	鈴木泉	平子友長	高田純	高山守	竹内章郎
武田一博	田坂さつき	種村完司	津田雅夫	出口康夫	直江清隆
中畑正志	新田孝彦	納富信留	野家啓一	野矢茂樹	牧野英二
牧野広義	御子柴善之	水野邦彦	村田純一	山内志朗	渡辺憲正
(推薦評議員)	岡部由紀子	杉田孝夫	村上祐子	蔵田伸雄	

編集委員 36名

<2期目>	秋元ひろと	麻生博之	井上克人	植村恒一郎	岡本裕一朗
奥田和夫	香川知晶	清塚邦彦	久保陽一	品川哲彦	中山康雄
平井靖史	古荘真敬	宮原勇	山崎裕子	山崎広光	山本芳久
<1期目>	神崎繁	石川伊織	一ノ瀬正樹	上原麻有子	金杉武司
川本隆史	周藤多紀	瀬口昌久	田口茂	戸田剛文	松田克進
松田毅	松田純	御子柴善之	村上靖彦	村松正隆	森一郎
湯浅正彦	河谷淳				

Ⅲ 来年度大会 第66回総会及び第73回大会

開催場所：北海道大学
日時：2014年6月28日(土)・29日(日)
(なお大会前日27日(金)夕方に哲学教育ワークショップが行われます。)

6月28日(土) <第1日>

- ・一般研究発表
- ・評議員会
- ・第66回総会

シンポジウム テーマ：「未来」(仮)

提題者 青山拓英 須同訓任 中島義道
司会 入不二基義 斎藤慶典

6月29日(日) <第2日>

- ・一般研究発表
- ・理事会
- ・一般会員企画公募ワークショップ

学協会シンポジウム

テーマ：「スピノザとライブニッツ」

提題者 上野修 松田毅
司会 未定

インターナショナル・セッション

テーマ：未定

男女共同参画・若手研究者支援ワークショップ

テーマ：未定

一般研究発表及び会員企画公募ワークショップを公募いたします。詳細については学会ホームページをご覧ください。なお、使用言語は、日本語のほかに、英語、独語、仏語も受け付けます。

応募締切：2013年11月8日(金) ファイル当日必着、印刷物は当日消印有効

Ⅳ 会費減額制度について

日本哲学会では、2014年度より、学生および常勤職にない会員等の年会費を減額する制度を導入します。この制度の概要についてはホームページをご覧ください。

Ⅴ 公募論文

日本哲学会は機関誌『哲学』に掲載する論文を募集しています。論文を投稿しようとする会員の方は学会ホームページに記載されている要領に従って応募して下さい。

Ⅵ 委員会報告

・大会企画委員会 (委員長 金山弥平)

大会企画委員会は、中畑正志委員長の下で、第72、73回の大会企画を行ってきました。2013年5月開催の第72回お茶の水大大会は盛況で、若い参加者が多く、多くの新企画、運営なども含め全体としては成功と評価されました。次回大会となる第73回北大大会については、シンポジウムが確定し、他の企画開催についても順次確定予定です。第74回上智大大会企画委員会は2013年末までに発足します。2013年6月1日より、金山委員長が第73、74回大会企画委員長として大会企画にあたることとなりました。

・林基金運営委員会 (委員長 高田純)

第65回総会報告事項の通り、第2回林基金若手研究助成を行いました。また、出版助成については引き続き募集をおこなっています。

・国際交流委員会 (委員長 伊勢俊彦)

2013年8月アテネで開催される世界哲学会において2つのセッションを開催します。第4回日中哲学フォーラムは、2014年に中国で開催という方向で折衝中です。

昨年度より、国際交流基金を新たに開設し、会員および各方面からのご寄付を募りながら本学会の国際交流活動の補助に充てております。

VII ワーキンググループ報告

・哲学教育WG (座長 直江清隆)

直江清隆(座長)、一ノ瀬正樹、梶谷真司、木阪貴行、河野哲也、寺田俊郎、新田孝彦、宗像恵、望月太郎、山田圭一 の10名と、協力メンバーの中川雅道氏(高校教員)で活動しています。第72回大会では、哲学教育ワークショップ「高校における哲学対話教育」を開催し、多数の参加者で活発な討論が行われました。次年度に向けたワークショップの準備のほか、哲学オリンピック、ユネスコが推進する哲学教育への対応、高校教員免許制度の改善(哲学系4学会と合同)などを行っています。詳しくは、日本哲学会HPの哲学教育のページをご覧ください。

・男女共同参画・若手研究者支援WG (座長 和泉ちえ)

「若手・非一常勤職研究者支援」に関するアンケート調査を実施いたします。同封しました趣旨文・質問文をご覧ください。締切は9月末日です。なお、日哲HPからも入力回答が可能です。パスワード等は、同封の趣旨でご案内しておりますので、忌憚のないご意見をお寄せ下さいますようお願い申し上げます。

・欧文誌検討WG (座長 鈴木泉)

本年6月より、座長が加藤泰史から鈴木泉に交代し、8名+オブザーバー2名で活動中です。科研費補助等による欧文誌刊行を検討しています。

VII その他

①会員連絡をお送りいたします。

2013年4月以降の新入会員名簿および名簿訂正表を同封します。なお登録内容に変更のある方、事務局へのお問合わせやご連絡は随時メールにてご連絡ください。

当事務局は、お茶の水女子大学から上智大学へ移転しました。

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1 上智大学7号館3F 哲学研究室気付 日本哲学会事務局
e-mail : nittetu@philosophy-japan.org 電話 : 080-7015-1317

②会費納入のお願い

会費を未納の方は至急お納め下さい。今年度会費(6,000円)を含めたご請求額は封筒の宛名ラベルの右下に表示してありますので、同封の振込用紙にて振込をお願いします。なお請求額は2013年7月末日現在の資料に基づいています。ご不明な点はメールにて事務局までお問い合わせください。

③会員資格について

4年以上会費未納の会員は日本哲学会会員資格を停止するものとし、学会誌『哲学』等の発送も停止します。会員資格を停止された方は、論文の投稿や大会での研究発表はできません。資格の復活を希望される場合は、会費未納期間分の全額支払いを条件とします。

⑤国際交流基金へのご寄付は随時承っています。お振込先は以下になります。

ゆうちょ銀行 (店名) 〇一八店 (名前) 日本哲学会国際交流基金
(預金種目) 普通預金 (口座番号) 8751303

以上